

1. 会 合	国債の決済期間の短縮化に関する検討ワーキング・グループ（第 39 回）（議事要旨）
2. 日 時	平成 27 年 4 月 9 日（木）午後 4 時 00 分～ 4 時 40 分
3. 議 案	1. T + 1 化実施目標時期等に関する調査の実施について 2. その他
4. 主な内容	<p>1. T + 1 化実施目標時期等に関する調査の実施について</p> <p>主査より、資料 1「国債の決済期間の短縮化に関する検討WG（第 38 回）（書面）への御意見について」に基づき、第 38 回ワーキング・グループ（以下「WG」という。）で寄せられたご意見の説明が行われた。その後、資料 2「T+1 化実施目標時期等に関する調査」に基づき、寄せられたご意見を踏まえて修正した調査票について説明が行われた後、大要以下のとおり意見交換等が行われた。</p> <p>【主な意見等】</p> <p>（委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CCP を利用していない市場参加者は相応に存在しており、市場規模・市場形成に係る課題・ニーズを把握する必要があるため、今後も CCP の取引が見込まれないケースに係る質問を調査票に盛り込んだ方がよいとの意見を提出した。 <p> グラウンドデザインでは、T + 1 化実施目標時期を策定するまでに、銘柄後決め方式 GCレポ取引（非 CCP 利用）の導入の可否、銘柄先決め方式の T + 0 レポ取引（非 CCP 利用）に係る市場慣行の整備を検討することとしているが、現実的には、銘柄後決め方式 GCレポ取引（非 CCP 利用）を導入することは難しい状況であるものの、その旨が公表されていない。WG に参加していない調査先においては、銘柄後決め方式 GCレポ取引（非 CCP 利用）の導入を期待している可能性もあることから、銘柄後決め方式 GCレポ取引（非 CCP 利用）を導入することは難しい旨を調査票で説明することにより、CCP を利用していない市場参加者に GCレポの T + 0 化に係る対応方針の検討を促すことができるのではないかと思う。非 CCP 利用の T + 0 レポ取引については、調査票でいただいたご意見を踏まえ、市場慣行を整備することを検討してほしい。</p> <p>⇒ CCP を利用している先は銘柄後決め方式に移行することから、昨年 6 月の信託銀行による CCP 参加等の状況を踏まえると、短縮化後は、銘柄後決め方式 GCレポ取引（CCP 利用）が中心的な市場になることが想定される旨を調査票に記載している。一方、ご指摘のとおり銘柄後決め方式 GCレポ取引（非 CCP 利用）の市場インフラの整備が想定されていない背景等に係る記載が少ないと考えられることから、事務局で記載を検討させていただきたい。（主査）</p> <p>（委員）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ S Cレポ取引及び銘柄先決め方式G Cレポ取引の新現先方式への移行に必要な対応に係る質問の中で、「システムの手当て」や「契約変更及び社内規程等の事務マニュアルの整備」といった選択肢が設けられているが、回答時点でシステムの手当ての要否が不明な場合、どのように回答したらよいか。 ⇒ 自由記入欄を設けるので、そこに記載をしていただきたい。(主査) <p>(主査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査票の配付対象先については、WGに参加している先以外に、平成 25 年に外部コンサルティング・ファームが実施したアンケートの調査先も対象とする方向で調整させていただき、幅広い市場参加者に調査を実施したいと考えている。本日いただいたご意見を踏まえ、修正した調査票をWG委員に展開させていただいた上で、4月14日に正式な調査票を送付させていただきたい。 <p>2. その他</p> <p>主査より、リーガル検討タスクフォース等における検討状況について説明が行われた。委員からは特段の意見はなかった。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
5. その他	※本議事要旨は暫定版であり、今後、内容が一部変更される可能性があります。
6. 本件に関する問い合わせ先	企画部 (Tel : 03-3667-8535)